

須々田 一朗（すすた・いちろう）

1、プロフィール

昭和 28 年アスナロ短歌会に入会。横山武夫に師事。「アスナロ」発行責任者、県歌人懇話会常任理事、青森市短歌連盟会長、東奥日報社主催青森県短歌大会選者等を歴任した。

<生没>

1929(昭和4)年1月17日～2004(平成16)年5月22日

<代表作>

歌集『野木和』『やすかた』

<青森との関わり>

昭和4年1月17日青森市安方1丁目に生まれた。

2、作家解説

昭和 28 年、横山武夫が主宰するアスナロ短歌会に入会。横山武夫に師事して作歌をつづけ、歌誌「アスナロ」の編集と校正を担当した。「アラragi」にも入会、短歌作品を発表する。

昭和 36 年、青森県歌人懇話会発行「青森県歌集」の編集と校正を担当。42 年間継続して現在に至る。

昭和 49 年、青森市短歌連盟を創立。理事、副会長を経て平成 14 年同連盟会長となり 15 年顧問就任。平成8年、青森市文化団体協議会理事就任。またアスナロ短歌会責任発行者となり、平成 15 年2月に「アスナロ」(通巻 604 号)を終刊号として発行。昭和3年横山武夫が創立したアスナロ短歌会を、75 周年をもって解散する。

選者歴。昭和 56 年より現在に至るまで、県内各地区において短歌大会の選者を担当。ほかに東奥日報社主催青森県短歌大会、東奥歌壇、青函交流短歌大

会、青森市民短歌大会、青森県民文化祭文芸コンクール実行委員、選者を担当して青森県歌壇の振興と発展につくした功績は誠に大きい。

平成3年、歌集『野木和』と『やすかた』発行。

青森県歌人賞(平成3年)、青森県歌人功労賞(平成5年)、青森市制100周年記念文化賞(平成10年)、青森市文化賞(平成11年)、青森県芸術文化振興功労章(平成15年)受賞。

歌碑の歌

島に来てバーベキューする若者らわれの時代になかりしひとつ

(平成10年5月建立、青森市浅虫温泉森林公園)

3、資料紹介

○歌集『野木和』

図書

1991(平成3)年8月22日

187mm×122mm

第1歌集。横山武夫に師事し、人生の真実を求めて作歌を続けてきた須々田一朗が昭和45年から平成3年までの歌448首を収める。歌集名の「野木和」は、「青森市の野木和団地に住んでから、父と母を弔い、長女を嫁がせたいわば第2の故郷である」と著者の言う世界が詠われている。